



何でも兼ツチング

No.67 「ユニークな貝=その名も「アラレタマキビガイ」」



今月は、庄内浜に住むユニークな貝
|| その名も「アラレタマキビガイ」の
話です。この貝は大きさが1センチほ



アラレタマキビガイ

どの小さな巻貝で、あられせんべい
のような形からなのか、あられのように
岩から落ちるからなのかその名の由来
は定かではありませんが、とても面白
い貝であることがわかりました。

「水が嫌い！」

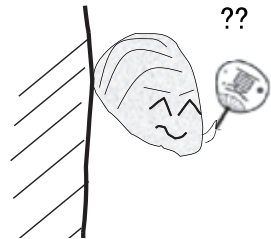
この貝は漁港や海岸の海水のかわら
ない乾いたところに住んでいます。海
に住む貝なのに、実は水が嫌いなので
す。

「夕涼み？をする」

インターネット

??

ト情報によれば、
夏の暑い日には
殻の片側だけで
岩に付着し、殻
の中に風を入れ
て涼んでいるよ
うな姿がみられる（「南房総データバ
ース」による）とのことですよ。

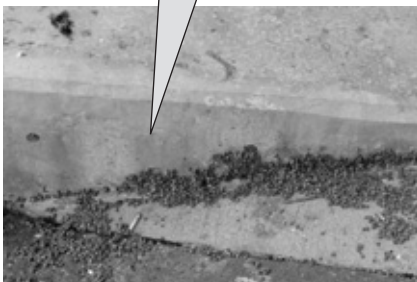


「民族大移動？をする」

昨年の夏に貝が団子状にかたまつて
いた漁港の棲みかを今年の1月に訪れ
てびっくり！1個の貝もないのではあ
りませんか。みんなはどこへ去つたの
か？とまわりを探すと船揚場のあちら
こちらに散って、微小な藻などの食物
をとっていました。冬になるとこの貝
は民族大移動？をするようです。

ただ今満室です

昨年の夏



引っ越しました

今年の冬(同じ場所)



水産試験場 アラレタマキビガイレポート

平野 央

ところで、カサガイの仲間には自分
の定住場所である「家」から毎日食物
を探しに「出勤」し潮の満ち引きに応
じて「帰宅」する種類があるそうです
(岩崎1997)。このカサガイと比
べるとアラレタマキビガイは、もっと
派手に動きまわるようです。

○冬に大移動するのでこれは「出稼
ぎ」なのか？
○いつまた元の「集合住宅」に戻る
のか？

○夏は稼がずに夕涼みをしながら
悠々自適に暮らしているのか？
○ひよっとすると夏でも人目につか
ない夜に「出勤」しているのか？
・・・と謎は深まるばかりですが、こ
のユニークな貝は今日も庄内浜の水際
でたくましく生きています。

● あなたも安心！ 私も安心！ 救命胴衣！